

(For JSPS Fellow)

Form B-5

Date (日付)

10/11/2017 (Date/Month/Year: 日/月/年)

**Activity Report -Science Dialogue Program-**  
(サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書)

- Fellow's name (講師氏名): PIAO Jingyu(朴 敬玉) (ID No. P16002 )

- Participating school (学校名): 清真学園高等学校・中学校

- Date (実施日時): 28/10/2017 (Date/Month/Year: 日/月/年)

- Lecture title (講演題目): 近現代東アジアにおける稲作農業

- Name and title of your company (同行者 職・氏名)

\_\_\_\_\_

- Lecture format (講演形式):

◆Lecture time (講演時間) 55 min (分), Q&A time (質疑応答時間) 10 min (分)

◆Lecture style (ex.: used projector, conducted experiments)

(講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など))

プロジェクター使用による講演

- Lecture summary (講演概要): Please summary your lecture 200-500 words.

私の出身地の紹介や受けてきた教育などについて話をし、2000年9月に日本に来てからの体験、上記のテーマで研究し始めたきっかけや現在における研究活動を紹介した。その後、日本、朝鮮半島、特に、中国東北地域における稲作農業の展開過程を紹介した。最後には、農業技術の移転、国境を越えた人の移動という視角から近現代東アジア農村社会の変革を理解することによって、より多様な当時の基礎社会も明らかになるとした。そのうえで、日本での留学生活を通じて東アジアの歴史について、より国際的な視角から考えるようになり、現在、日本に居住していながら、中国や韓国の学界で研究発表をし、研究者のかたと交流ができることをとても幸せだと述べた。

- Overall advice or comments to future participants in the program (今後の講師へのアドバイス):

講演しながら、学生たちとの会話をもっとすべきだったと思いました。

- Other noteworthy information (その他特筆すべき事項):

講演後、学生たちのご感想と質問を送っていただきました。私自身の今後の研究や生活に生かしていきたいと思います。回答は整理してお送りする予定です。今後もこのような繋がりを大事にしていきたいです。

- Impressions and opinions from a company (同行者の方から、本事業に対する意見・感想等がありましたら、お願いいたします)